

平成 24 年 病院経営分析調査報告の概要

(1) 平均在院日数

全病院で見ると 16.75 日（前年 6 月 16.55 日）となっており、開設者別にみると、自治体病院は 16.29 日（前年 6 月 16.36 日）、その他公的病院は 15.24 日（前年 6 月 15.41 日）、私的病院は 21.15 日（前年 6 月 19.86 日）となっている。

また、一般病院の病床規模別に平均在院日数の短い方から順にみると、①600～699 床 13.08 日、②500～599 床 13.67 日、③700 床以上 14.04 日、④400～499 床 14.05 日、⑤300～399 床 15.67 日、⑥200～299 床 19.12 日、⑦100～199 床 23.97 日、⑧20～99 床 26.10 日となっている。これを開設者別病床規模別にみると表 1 のようになっている。

表 1 一般病院の平均在院日数、開設者別、病床規模別

開設者 \ 病床規模	総数	20～ 99 床	100～ 199 床	200～ 299 床	300～ 399 床	400～ 499 床	500～ 599 床	600～ 699 床	700 床～
総数	15.95	26.10	23.97	19.12	15.67	14.05	13.67	13.08	14.04
自治体	15.41	27.47	21.53	16.62	15.15	14.42	13.51	13.02	14.40
その他公的	15.08	50.05	22.05	19.69	15.70	13.33	13.72	13.34	13.65
私的	19.32	19.53	28.54	23.18	17.13	15.50	14.34	12.01	14.12

(2) 病床利用率

全病院で見ると 72.82%（前年 6 月 74.58%）となっており、病院の種類別にみると、一般病院 72.50%（前年 6 月 74.45%）、精神科病院 79.00%（前年 6 月 77.19%）となっている。

また、一般病院の病床規模別に病床利用率の高い方から順にみると、①700 床以上 76.76%、②500～599 床 76.70%、③600～699 床 74.85%、④400～499 床 72.74%、⑤100～199 床 71.66%、⑥20～99 床 70.88%、⑦200～299 床 69.91 日、⑧300～399 床 69.18 日となっている。

表 2 一般病院の病床利用率、病院規模別、年次別

年次 \ 病床規模	総数	20～ 99 床	100～ 199 床	200～ 299 床	300～ 399 床	400～ 499 床	500～ 599 床	600～ 699 床	700 床～
平成 20	73.44	73.09	71.90	71.03	70.16	74.35	78.62	79.05	77.44
21	72.41	72.76	73.12	70.78	68.78	72.00	73.18	80.82	78.32
22	75.81	73.76	73.73	73.80	72.64	76.91	78.92	80.53	79.45
23	74.45	71.79	73.28	72.67	72.02	74.53	78.60	76.66	76.50
24	72.50	70.88	71.66	69.91	69.18	72.74	76.70	74.85	76.76

(3) 一般病院における 100 床当たり職員数

職員総数は 151.8 人（前年 6 月 145.8 人）となっており、職種別にみると、医師 18.2 人（前年 6 月 17.6 人）、看護部門職員 88.1 人（前年 6 月 85.7 人）、看護部門職員のうち看護師 74.0 人（前年 6 月 72.7 人）となっている。その他、薬剤部門職員 4.2 人、放射線部門職員 4.2 人、検査部門職員 5.6 人、リハビリ部門職員 6.4 人、栄養（食事）部門職員 3.6 人となっている。

(4) 医師1人1日当たり取扱い患者数

入院の平均は5.9人(前年6月5.3人)となっている。診療科別でみると、入院で取扱う患者が多いのは精神科16.9人、リハビリ科14.8人、整形外科8.2人、神経内科および脳神経外科7.4人などで、少ないのは歯科1.7人、麻酔科2.0人、放射線科2.3人、小児外科2.6人などである。

外来の平均は10.4人(前年6月8.9人)となっている。診療科別でみると、外来で取扱う患者が多いのは肛門外科23.0人、皮膚科20.3人、眼科19.0人、耳鼻咽喉科13.1人、泌尿器科12.7人、リハビリ科11.0人が多く、少ないのは小児外科2.6人、麻酔科2.8人、心臓血管外科3.1人、呼吸器外科3.2人、放射線科4.1人などである。

(5) 医師1人1日当たり診療収入

DPC以外の病院における入院の平均は280千円となっている。診療科別でみると、入院で比較的高額なのは、リハビリ科428千円、心臓血管外科363千円、整形外科361千円、精神科357千円、神経内科350千円、脳神経外科320千円などである。

DPC以外の病院における外来の平均は142千円となっている。診療科別でみると、外来で比較的高額なのは、泌尿器科195千円、肛門外科175千円、呼吸器内科172千円、眼科163千円、内科155千円などである。

DPCの病院における入院の平均は279千円となっている。診療科別でみると、入院で比較的高額なのは、心臓血管外科423千円、脳神経外科409千円、整形外科399千円、循環器内科369千円、呼吸器外科334千円などである。

DPCの病院における外来の平均は125千円となっている。診療科別でみると、外来で比較的高額なのは、泌尿器科212千円、内科150千円、眼科139千円、呼吸器内科129千円、消化器内科118千円などである。

(注) 平成22年度調査より集計方法を変更している。

表3 医師1人1日当たり診療収入、入院・外来別、診療科別

(単位：千円)

	DPC以外の病院		DPC以外の病院		DPCの病院		DPCの病院				
	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来			
総数	280	142			総数	279	125				
内科	266	155	泌尿器科	181	195	内科	246	150	泌尿器科	252	212
呼吸器内科	236	172	肛門外科	234	175	呼吸器内科	286	129	肛門外科	200	34
循環器内科	306	113	脳神経外科	320	90	循環器内科	369	88	脳神経外科	409	67
消化器内科	231	122	整形外科	361	126	消化器内科	243	118	整形外科	399	92
神経内科	350	97	形成外科	93	59	神経内科	286	88	形成外科	160	48
皮膚科	40	108	眼科	168	163	皮膚科	84	94	眼科	234	139
小児科	103	52	耳鼻咽喉科	97	103	小児科	166	57	耳鼻咽喉科	194	90
精神科	357	79	小児外科	240	23	精神科	132	84	小児外科	237	18
外科	241	82	産婦人科	193	58	外科	281	98	産婦人科	279	60
呼吸器外科	215	58	婦人科	182	87	呼吸器外科	334	74	婦人科	268	92
心臓血管外科	363	25	リハビリ科	428	37	心臓血管外科	423	28	リハビリ科	175	55
消化器外科	299	136	歯科	23	84	消化器外科	311	79	歯科	60	67

(6) 主な診療科別の患者1人1日当たり診療収入

DPC以外の病院における主な診療科別の患者1人1日当たり診療収入をみると、入院では心臓血管外科の119,699円が特に高額であるのに対して、最も小額なのは精神科の16,127円である。外来では放射線科の21,497円をはじめ、呼吸器内科20,482円、消化器外科17,184円、呼吸器外科15,818円などが高額であるのに対し、最も小額なのは皮膚科の3,983円である。

DPCの病院における主な診療科別の患者1人1日当たり診療収入をみると、入院では心臓血管外科の124,021円が特に高額であるのに対して、最も小額なのは精神科の18,452円である。外来では呼吸器外科の23,861円をはじめ、外科21,367円、放射線科21,132円などが高額であるのに対し、最も小額なのはリハビリ科の4,311円である。

患者1人1日当たり診療収入を主な診療科別にみると図1および図2のようになっている。

(注) 平成22年度調査より集計方法を変更している。

図1 主な診療科別の患者1人1日当たり診療収入【DPC以外の病院】

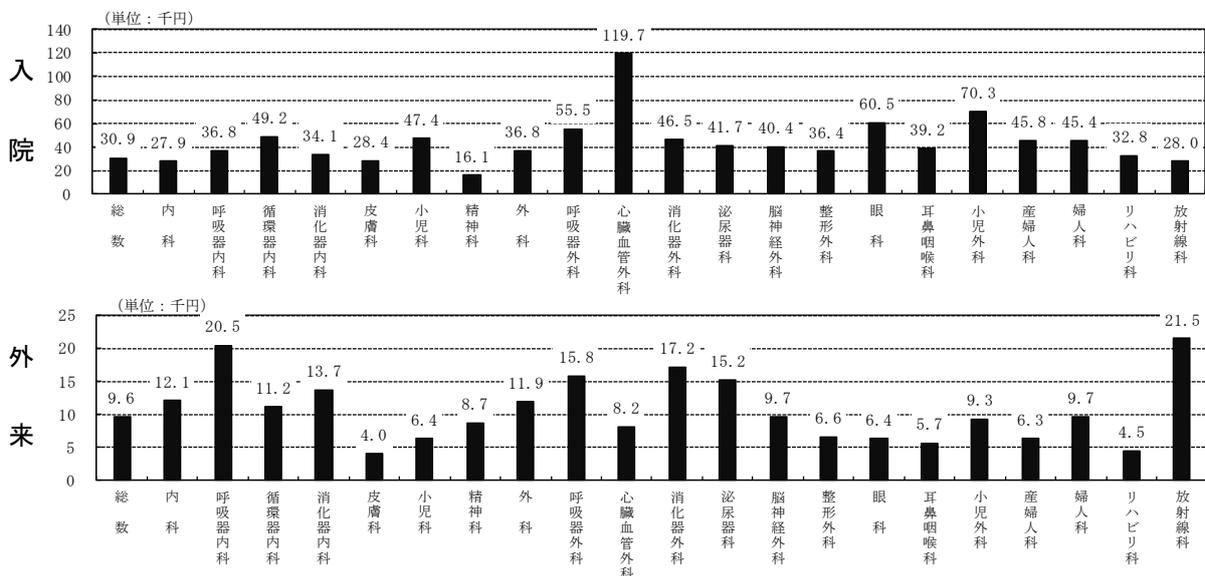


図2 主な診療科別の患者1人1日当たり診療収入【DPC病院】

